

京都府の地震活動

令和8年（2026年）3月

第 39 卷 3 号

京都地方気象台

目次

| | |
|------------------------------------|------|
| 震央分布図、概況 | ・・・1 |
| 震央分布図、断面図 | ・・・2 |
| 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表 | ・・・3 |
| 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図 | ・・・4 |
| 【地震一口メモ】「京都府の地震活動」掲載の震央分布図と断面図について | ・・・5 |

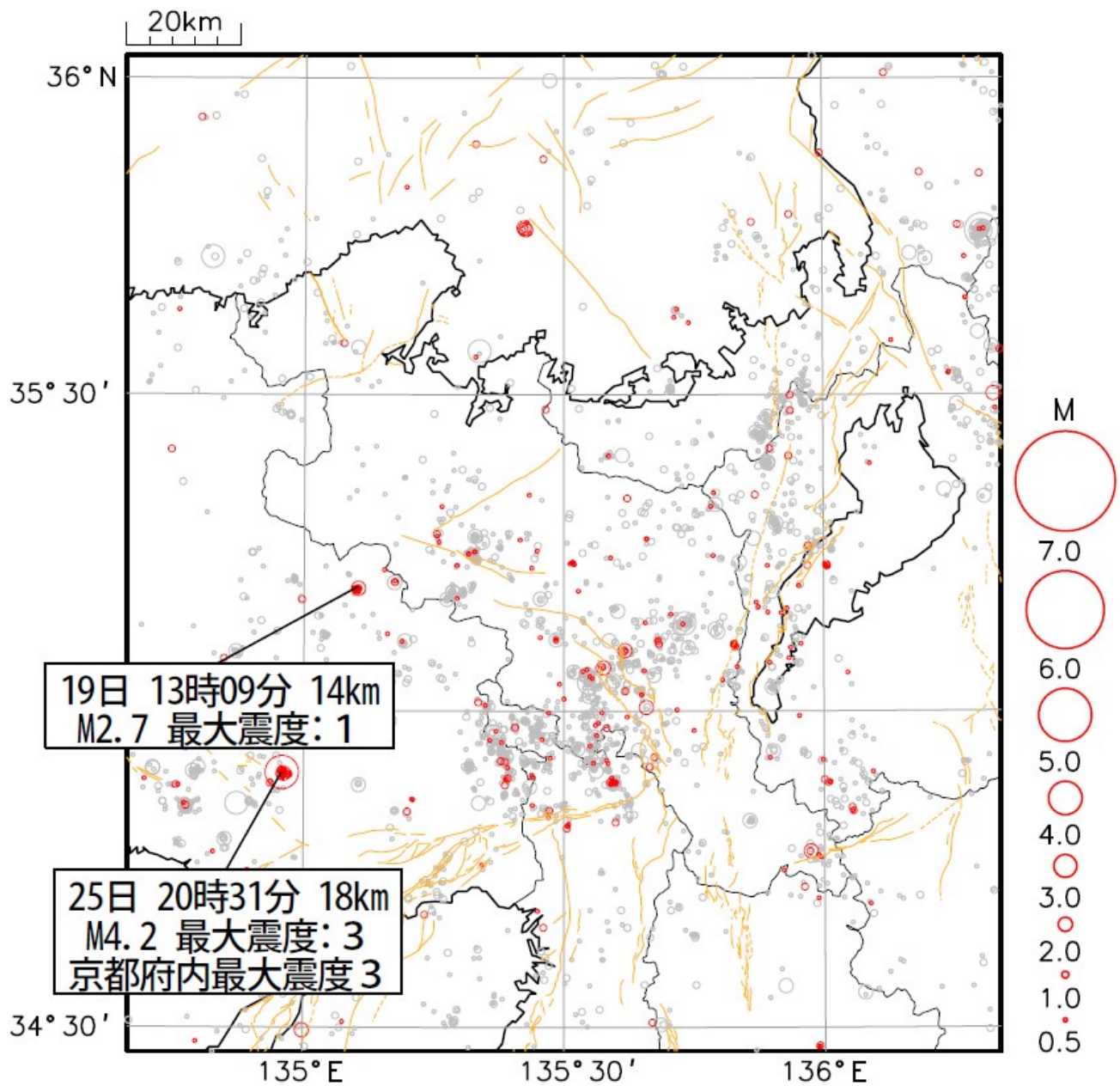
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



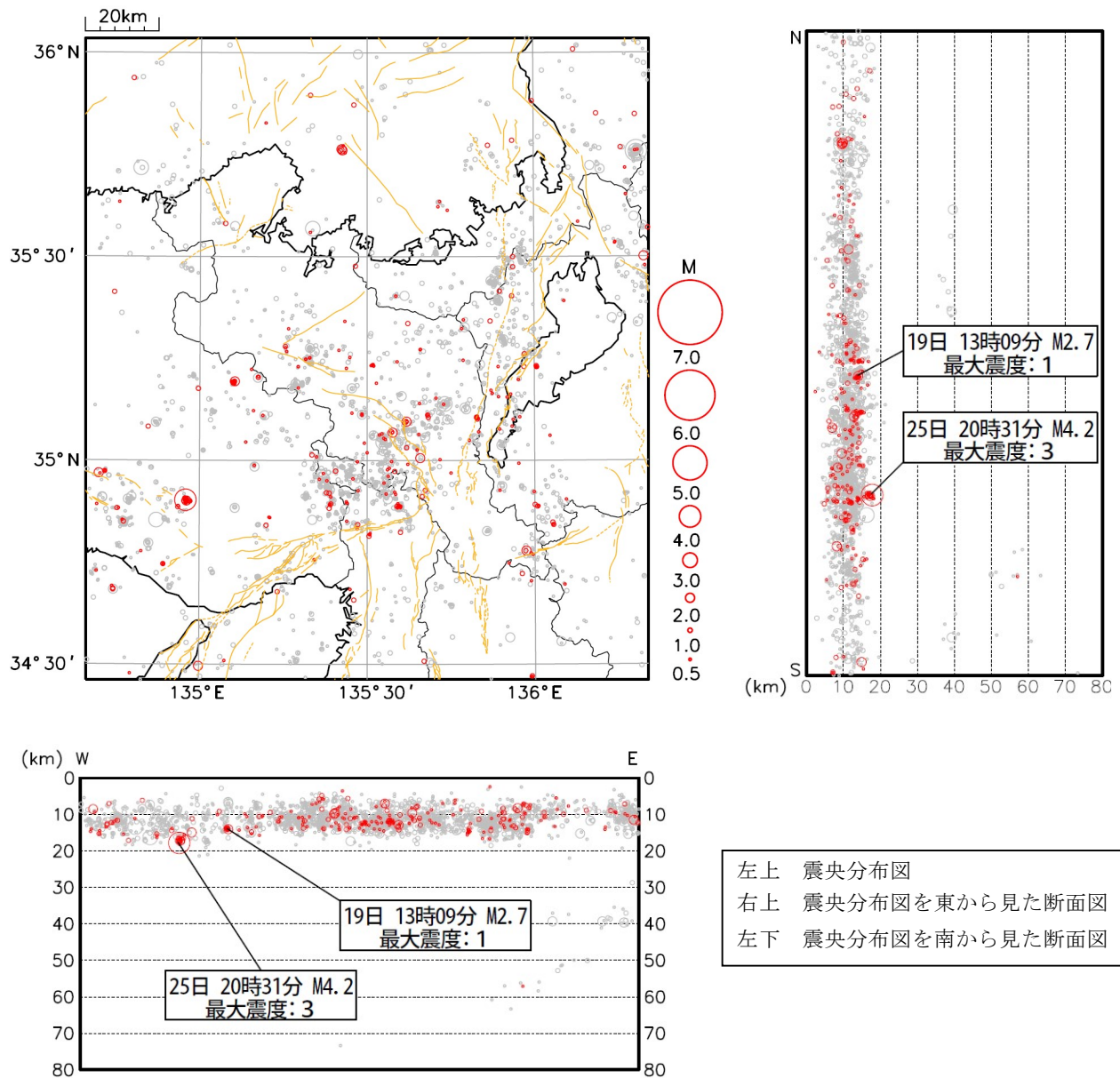
- ・ (2025年4月1日～2026年3月31日、深さ0～80km、M≥0.5)
- ・ 2026年3月の地震を赤く表示（総数279）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード (M)、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・ 橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

概況

3月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は12回、震度1以上の揺れを観測した地震は2回でした（2月はそれぞれ10回、0回）。

京都府内で震度1以上を観測した地震は1回でした（2月は0回）。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2025年4月1日～2026年3月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$)
- ・ 2026年3月の地震を赤く表示（総数279）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・ 橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数km～約20kmに分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約30km～約60kmに分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2026年3月）

| 番号 | 観測日時 | | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ | 規模 |
|----|-------|--------|--------|----------|-----------|------|-----|
| | 月日 | 時分 | | (度分) | (度分) | (km) | (M) |
| ① | 3月25日 | 20時31分 | 兵庫県南東部 | 34°54.1' | 134°57.5' | 18 | 4.2 |

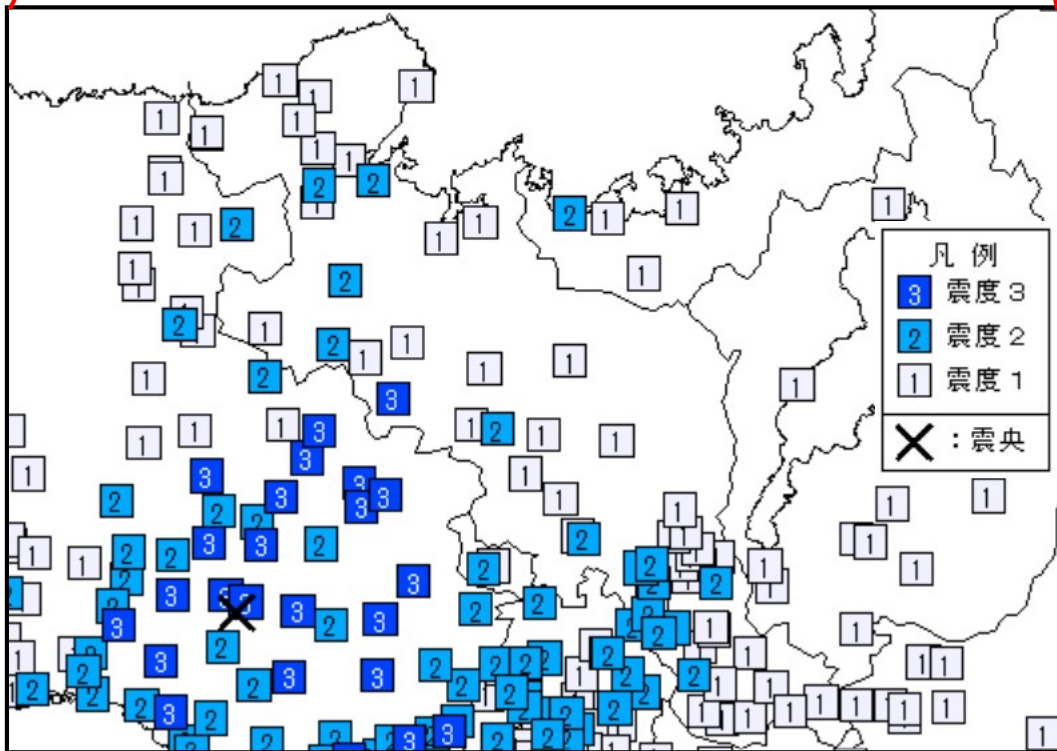
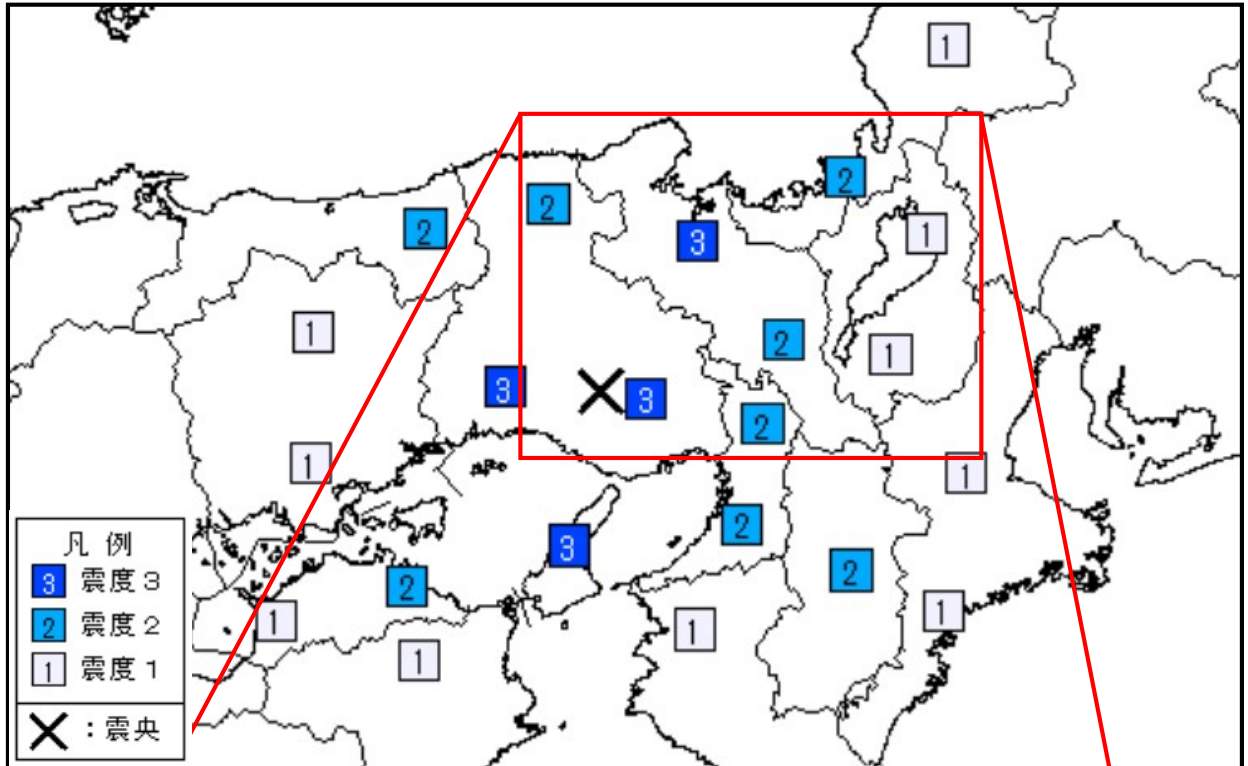
| 地域 | 震度観測点 | 所属 | 各地の震度 |
|------------|-------------|----|-------|
| | | | ① |
| 北 部 | 福知山市内記 | 気 | 2 |
| | 福知山市長田野町 | 防 | 1 |
| | 福知山市三和町千束 | 自 | 3 |
| | 福知山市夜久野町額田 | 自 | 1 |
| | 福知山市大江町河守 | 自 | 2 |
| | 舞鶴市下福井 | 気 | 1 |
| | 舞鶴市浜 | 防 | 1 |
| | 舞鶴市北吸 | 自 | 1 |
| | 綾部市若竹町 | 自 | 1 |
| | 宮津市柳縄手 | 自 | 2 |
| | 伊根町亀島 | 防 | - |
| | 伊根町日出 | 自 | 1 |
| | 京丹後市弥栄町吉沢 | 気 | - |
| | 京丹後市久美浜町広瀬 | 防 | 1 |
| | 京丹後市峰山町 | 自 | 1 |
| | 京丹後市大宮町 | 自 | 1 |
| | 京丹後市丹後町 | 自 | - |
| | 京丹後市久美浜市民局 | 自 | 1 |
| | 京丹後市網野町 | 自 | 1 |
| | 京丹後市弥栄町溝谷 | 自 | 1 |
| 南 部 | 与謝野町加悦 | 自 | 1 |
| | 与謝野町岩滝 | 自 | 1 |
| | 与謝野町四辻 | 自 | 2 |
| | 京都北区大宮西脇台町 | 自 | 1 |
| | 京都上京区藪ノ内町 | 自 | 1 |
| | 京都左京区広河原能見町 | 防 | - |
| | 京都左京区田中 | 自 | - |
| | 京都中京区西ノ京 | 気 | 1 |
| | 京都中京区河原町御池 | 自 | - |
| | 京都東山区清水 | 自 | 1 |
| | 京都下京区河原町塩小路 | 自 | 1 |
| | 京都南区西九条 | 自 | 1 |
| 京都右京区京北周山町 | 自 | 1 | |
| 京都右京区太秦 | 自 | - | |

| 地域 | 震度観測点 | 所属 | 各地の震度 |
|-----------|------------|----|-------|
| | | | ① |
| 南 部 | 京都伏見区竹田 | 自 | 1 |
| | 京都伏見区醍醐 | 自 | 2 |
| | 京都山科区安朱川向町 | 防 | - |
| | 京都山科区西野 | 自 | 1 |
| | 京都西京区檜原 | 自 | 2 |
| | 京都西京区大枝 | 自 | 2 |
| | 宇治市宇治琵琶 | 気 | 1 |
| | 宇治市折居台 | 防 | 1 |
| | 亀岡市安町 | 気 | 2 |
| | 亀岡市余部町 | 防 | 1 |
| | 城陽市寺田 | 自 | 1 |
| | 向日市寺戸町 | 自 | 2 |
| | 長岡京市開田 | 自 | 1 |
| | 八幡市八幡 | 自 | 2 |
| | 大山崎町円明寺 | 自 | 2 |
| | 久御山町田井 | 自 | 2 |
| | 京田辺市田辺 | 自 | 2 |
| | 井手町井手 | 自 | 1 |
| | 宇治田原町立川 | 自 | 1 |
| | 笠置町笠置 | 自 | 1 |
| 和束町釜塚 | 自 | 1 | |
| 精華町南稲八妻 | 自 | 1 | |
| 南山城村北大河原 | 自 | 1 | |
| 京丹波町坂原 | 気 | - | |
| 京丹波町橋爪 | 自 | 1 | |
| 京丹波町本庄 | 自 | 1 | |
| 京丹波町蒲生 | 自 | 2 | |
| 南丹市美山町島 | 自 | 1 | |
| 南丹市日吉町保野田 | 自 | 1 | |
| 南丹市八木町八木 | 自 | 1 | |
| 南丹市園部町小桜町 | 自 | 1 | |
| 木津川市加茂町里 | 自 | 1 | |
| 木津川市木津 | 自 | - | |
| 木津川市山城町上狛 | 自 | 1 | |

注1：表○数字は、3月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

注2：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「国立研究開発法人防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

① 3月25日20時31分 兵庫県南東部の地震（深さ18km、M4.2）の震度分布図（上図：地域別、下図：観測点別）



【地震一口メモ】

「京都府の地震活動」掲載の震央分布図と断面図について

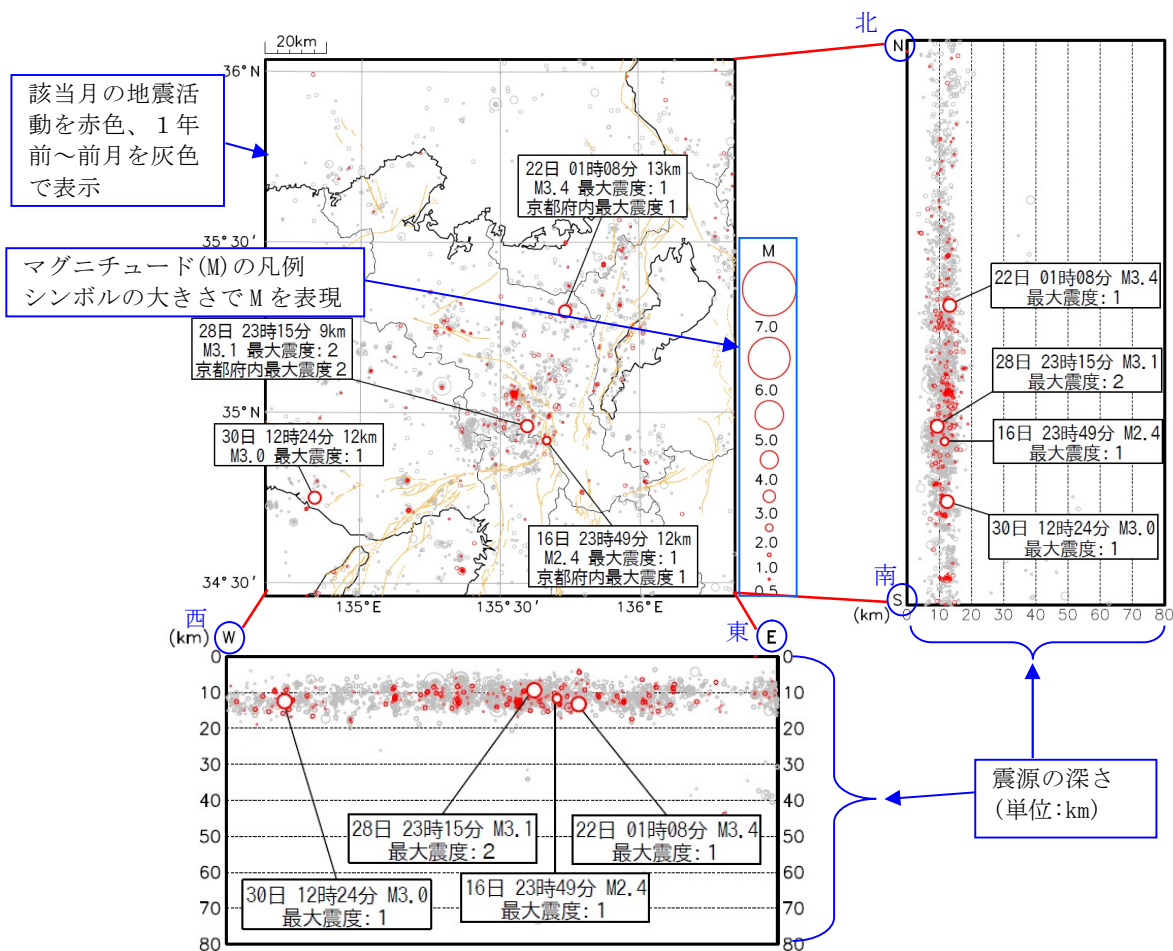
「京都府の地震活動」に掲載している「震央分布図」と「断面図」について説明します。

地震発生の際に、岩盤のずれが始まった場所を「震源」と言い、その真上の地表位置を「震央」と言います。資料1ページ目に掲載している震央分布図は、ある期間に発生した地震の震央をプロットしたもので、シンボルマークの大きさにより地震の規模（M：マグニチュード）を表現しています。

また、資料2ページ目には、地下の様々な深さで発生する地震の震源が深さ方向にどのように分布しているのかを知るために、震央分布図の領域の東西方向と南北方向について、震源の鉛直分布を表示した断面図を掲載しています。この断面図から、京都府および周辺で発生している地震の多くが深さ20kmより浅い地震（陸域の浅い地震）ということが分かります。

震央分布図や断面図では、その月の地震を赤色でプロットするとともに、1年前～前月の地震活動を灰色でプロットしています。この赤色と灰色の分布を見比べていただくことで、その月の京都府周辺部の地震がここ1年の活動と比較してどの場所で発生しているか把握いただけます。

普段から地元地域の地震活動に関心を持つことで、地震を身近なものとして理解し、防災意識の向上につなげることができます。



震央分布図記載例（左上）と断面図記載例（左下：東西断面図。右：南北断面図）

※説明のため、吹き出しがある震央分布図（資料1ページ目）と断面図（資料2ページ目）を同時に掲載し一部加工